



【解説】谷津の地形や湧水を活かした公園。夏にはホタル、春秋のバラ、晩秋のモミジが見所。

市景

瓦版
～第7号～



イルミネーション紹介展開催決定！！

私もやって
みようかな♪



過去の
写真



紹介展開催情報

【展示期間】

平成29年12月16日(土)～21日(木)

【展示場所】

アイ・リンクタウン展望施設(市川駅南口)

今年も
開催！

★イルミネーションバスツアー★

【日時】

平成29年12月16日(土)15時30分～20時(予定)

【内容】

市内のイルミネーションスポットをマイクロバスで巡ります。(先着25名)

- ①アイ・リンクタウン展望室に集合し、クリスマスコンサートを鑑賞。
- ②コンサート終了後、市川駅からマイクロバスに乗り込み2時間程度で市内を巡る。

※詳細は「広報いちかわ12月2日号」でお知らせ予定です。

素敵な夜間景観、なかでも冬の風物詩ともいえる「イルミネーション」について、みなさんの取り組みを広く紹介し、魅力ある市川を発信します。

写真を募集します

【部門】

①個人部門

一般住宅で、各家庭が取り組んでいるものが対象です。

②団体部門

商店街や自治会、店舗、ビル、学校や病院等の公共施設のイルミネーションなど、グループや団体で取り組んでいるものが対象です。

【応募期間】

平成29年11月20日(月)～12月11日(月)まで

【応募方法】

申込用紙及び写真を持参または郵送

※詳細は「応募要項」または「市川市公式Web」をご覧ください。(11月中旬以降配布・掲載予定)



他薦もOK！

第11回市川市景観賞募集中！

まち並み景観整備課ほか市内各施設で申込用紙を配布しています。市川市公式Webからもダウンロードが可能です。

【募集対象】

- ◆啓発イベント ◆建築・まちなみ
- ◆緑化 ◆清掃 ◆その他

【応募締切】

平成29年11月10日(金)



行徳の歴史と文化を活かしたまちづくり

旧浅子神輿店主屋・工場跡地が
新しく生まれ変わります！

市川市では、旧浅子神輿店主屋と工場跡地を活用し、**行徳の歴史や文化を伝え、コミュニティの拠点**となる施設を整備することになりました。

現在、来年度のオープンに向け、準備を進めています。



旧浅子神輿店主屋



詳細は決定次第第8報等でお知らせします！

行徳の歴史と文化を伝えるコミュニティの拠点



休憩等スペース完成イメージ

浅子神輿店を資料館へ

行徳の歴史や文化を紹介。まちの情報発信の拠点に生まれ変わります。

工場跡地に休憩等スペースを新設

観光案内や軽食・飲み物の提供、地元住民のコミュニティエリアとなる和風建屋を新設します。

常夜灯公園に東屋を増設

休憩できる場所を増やします。植栽を充実します。

★お知らせ★

行徳小学校の取り組み

「ガーデニング」を学んでいます！

行徳小学校の4年生のみなさんは、総合的な学習の時間に、環境学習の一環として「ガーデニング」について学んでいます。

7月には、市川市が進めている「ガーデニングシティ・いちかわ」の取り組みや、「まち並み景観まちづくりハンドブック」を使った身近な景観まちづくりの授業を行いました。



行徳小学校オープンガーデン開催！

これまでオープンガーデンに参加していた行徳小学校。この秋は、児童のみなさんから「やりたい！」と声上がり、オープンスクールに合わせて開催します。

事前の申し込みは不要です。是非、ご参加ください！

日時 11月22日(水)
10時20分～
11時20分(予定)

場所 行徳小学校内
職員玄関前花壇
(正面入ってすぐ)



「行徳まちづくり協議会」が 発足しました！

行徳地域のまち並み景観づくりやにぎわいづくりを、地域のみなさんと一緒に考える「行徳まちづくり協議会」が発足しました。

現在、月1回協議会を開催し、行徳のまち並み景観づくりや、整備される施設の管理運営、展示やイベントの内容について検討しています。

行徳まちづくり協議会に聴く！

中台会長、鹿島副会長にお話を伺いました。

Q：行徳まちづくり協議会が始まったの思いは？

「地域のコミュニティ」

（鹿島）今年には五カ町例大祭があり、地域が盛り上がっている。いいタイミングではじめることができた。この協議会を通じて地域のコミュニティが生まれてほしい。

（中台）これまで地域の交流はありそうでなかったが、会の設立をきっかけに交流が生まれた。共通の目的をもって集まり、語り合う時間は地域にとって大切だ。

これまで、地域の良さを伝える活動を続けてくれた先人たちがいたから、つながりやすかった。

Q：行徳まちづくり協議会でやりたいことは？

「発信」

（中台）行徳の魅力や文化、歴史、良さを、市内外問わず知ってもらい、広めたい。

（鹿島）地元の人たちが発信することに関わってもらいたい。誰もが自ら発信することに面白味を感じられるといいと思う。

Q：まちに感じている変化は？

「つながり」

（中台）一時、地域に元気が無かったが、今、40代、50代の人達が、青年会を立ち上げるなど、アクションを起こしている。この年代になると、新しく行徳に越してきた人たちとも一緒にやっという気持ちになっている。地域が開かれて、横のつながりができつつある。

若手も自分たちがちゃんとしないと、子どもたちの世代に何も残せないかもしれないと責任感を感じている。

行徳まちづくり協議会メンバー

旧道エリアの自治会長

行徳てらまち会

行徳郷土文化懇話会

市川案内人の会

市川市観光協会

明光企画（行徳新聞を発行）



左：中台会長
右：鹿島副会長

Q：行徳まちづくりをどのように進めたい？

「行徳らしさ」

（鹿島）行徳には、今でも地域の独自の雰囲気、がしっかりと残っている。その雰囲気により古いものが守られてきた。今後も守っていききたい。

（中台）まちの様子は変わっていったとしても、行徳には常夜灯、浅子神輿など、ここが行徳だとわかるシンボルがある。地域らしさは意識しないと残らない。新しく整備したものであっても、いいものができればまちに溶け込む。いいものを残していきたいと思う。

Q：大切にしたいことは？

「継承」

（鹿島）歴史や伝統は、そのまま伝えようとしても今の人たちには伝わらない。今の人たちに合った手法で伝えることが必要だと思う。

（中台）若手も巻き込み、歴史を継承したい。世代をつなぐことが、この協議会の役割だと思う。

時代は流れていても、行徳らしさが残っているまちを継承し、次の世代にも行徳に愛着をもってほしい。足を踏み入れた時に良さを体感するまちにしたい。

今年も開催！ガーデニングマーケット！！

11月3日に、大洲防災公園で行われる市民まつり。

中央広場では、花苗や切り花、ガーデニンググッズの販売、講習会を行います。是非お越しください♪



日時 11月3日(金・祝)
10時～16時

場所 大洲防災公園
中央広場

「まち並み景観まちづくり ハンドブック」配付中♪

身近な景観への取り組みを紹介しています。

⇒市景瓦版にも登場している市川景子さんが目印♪



みなさまの景観まちづくりの情報をお待ちしております！

景観見賞受賞者に聴く

Vol.3

このコーナーでは、歴代の景観見賞受賞者に、どのような景観づくりを行っているのかお話を伺います。

今回は、第6回受賞者の

東光電気工事株式会社、
鹿島建設株式会社 建築設計本部

さんです。

☆活動内容☆

老朽化による
東光電気工事 市川センター
(研修所・独身寮)

の建替えに伴う
設計・管理活動

通いの連続性

ゆとりとうるおい

通りを意識した
連続性のある
植栽や開かれた中庭



☆受賞理由☆

夜間景観

安心・安全

建物全体がまちを照らす
「行灯」となるような
デザイン設計



中庭の工夫

ゆとりと安らぎ

近隣住民が気軽に
立ち寄れる開放的
空間の管理活動



施主

東光電気工事
株式会社
黒澤さん



「まちなかにある企業として、
まちと一緒に生活していく」
～地域とともに50年～

設計者

鹿島建設
株式会社
今山さん



Q なぜこのような景観づくりを
行おうと思ったのですか？

A 旧建物は50年以上前からこの
地にあり、土地に愛着がある。
東光電気工事の技術者はこの市川
に住んで、都内の工事現場に向
かって行った。

会社が市川を拠点として歩ん
できたという思いから、建替えの際
には、地域に根ざしたものにし
て考えた。

Q 地域との関わり方は？

A 地域と日頃の付き合いはとても
大事。人なつこい管理夫婦を中
心に、独身寮の社員みんなが地域
清掃などを実施している。

中庭は近隣の方々に憩いの場と
してお立ち寄り頂いており、ど
なたにも気持ちよく利用して頂
ければと思う。子どもたちが大き
くなり、東光電気工事の中庭で遊
んだことを思い出してくれたら、
嬉しい。

Q 工夫した点は？

A この辺りは夜暗く、照明を
つけておくことで防犯活動にも
なる。社員の安全の確保は近
隣地域の安全があつてこそだ
と思う。

また、門をつけないこと
で、何かあったときに地域
の方が駆け込めるように
している。

Q 景観づくりの継続につ
いてはいかがですか？

A 景観賞で表彰されたこと
は大変嬉しい。

見られているという意識
を持って、管理人も清掃員も
いつもきれいにしてくれてい
る。

天気の良い日はお立ち寄
り頂き、中庭でおくつろぎ
下さい。

Q 設計をする上で大切に
したことは？

A 東光電気工事さんが、長年
大切にされてきた「地域の一員
として生活し、まちに貢献する」
という考え方や、「地域の方も
気軽に立ち寄れる中庭にしたい。
門や塀を設けたくない。」とい
う思いを受け、建物としての機
能やセキュリティを確保しな
がら、広く開かれた中庭を中
心とした、どこからでも中庭
の景色が楽しめる施設となる
ように設計を進めた。

Q 景観上こだわった部分
は？

A 建物の色や緑化、空地の取
り方なども地域との関わり方
から考えることが本来の景観
を考えることなのではないか
と思い、設計した。

具体的には、施設を利用する
地域の方々が楽しめるように、
沿道や中庭には、四季を彩る
植栽を配置した。また、街を
照らす照明計画、建物の色彩
や中庭の形状、仕上げ材など
にこだわった。

竣工後、近隣の方々からは、
「照明がきれい」、「通りが歩
きやすくなった」という声
を頂いている。